倉敷市立玉島小学校
学校だより
玉小っ子
1月
令和６年１月２４日

米大リーグで活躍する大谷翔平選手が、全国の小学校にグローブをプレゼントしてくれるというニュースが話題になりました。本校の子どもたちも、「まだ届きませんか？」とたずねてくるほど、気になっていたようです。そのグローブが、玉島小学校にも届きました。約束通り、３個セットで、右利き用・左利き用１つずつと、右利き用の少し小さいサイズが１つです。

一昨日、児童朝会を開いて、全校児童にお披露目しました。その後、６年生から各グラスで１時間ごと、グローブとふれ合う時間をとっています。全クラスをグローブが一巡したら、次は、各クラスに１日ずつ、グローブを使って遊ぶ時間をとっていこうと考えています。最後のクラスは、グローブを使うことができる日が来るまで、何日も待たないといけなくなりますが、楽しみに待ってくれるように話しています。

全てのクラスでグローブを使った後、どう活用していくか思案中です。校内に展示しておくのは、大谷選手の望むことではないでしょうから、できるだけ子どもたちが使って使って、グローブがボロボロになるほど楽しめる、いい方法を検討していこうと思います。

校長　髙木　盛雄

☆大谷翔平選手の願いを子どもたちに伝えるために…

学校関係者各位

貴校ますますご清栄の事とお慶び申し上げます。

ロサンジェルス・エンゼルス・オブ・アナハイムのメジャーリーガー、大谷翔平です。

この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムをご紹介するためのものです。

この３つの野球グローブは学校への寄付となります。それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。

この機会に、グローブを寄贈させていただけることに感謝いたします。貴校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

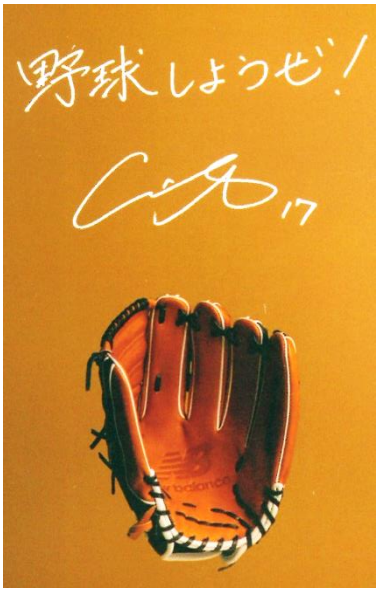
野球しようぜ。　　大谷翔平

グローブには、左のような手紙が添えられていました。大谷選手の願いは、「次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなること」という言葉に込められていると感じました。「野球しようぜ。」の言葉の印象が強いですが、野球だけに限らず、自分の将来に夢をもてる子どもたちであってほしいと思ってくださっていると思います。まずは、このことを子どもたちに伝えたいと考えました。

大谷選手に限らず、一流のアスリートは、みんな、自分だけの力での成功ではなく、周囲の支えがあってこそと、必ず感謝の気持ちを表現しています。これは、パフォーマンスではなく、本心からの言葉だと私は信じています。周囲の支えの大きさに気付き、それに応えるように精一杯頑張ることができる、そんな人格があってこそ一流の頂に到達できているのだと思うからです。超一流にまでなった大谷選手は、これまでの支えに感謝すると同時に、今の自分にできる貢献が何かを常に意識しておられるのではないでしょうか。

大谷選手の願いに応える方法として、２つのことを子どもたちに話しています。一つ目は、“夢”をもつこと。二つ目は、周囲の支えに感謝して、自分も誰かを支えられる人になることです。大谷選手に直接、恩返しはできなくても、その恩を次につなげていく“恩送り”は、できるはずです。これまで、玉小の子どもたちに語ってきた、「ありがとうと言える心と言われる行い」にも通じることだと思います。

ぜひ、ご家庭でも、このグローブの事を話題にしていただき、大谷選手の願いが子どもたちの心に確実に広がっていくようお力添えください。



(グローブに付いていたタグ)

☆学習発表会の予行をすませました。いよいよ今週末、本番です！

学習発表会が今週の金曜日に迫っています。月曜日に予行を行い、各学年とも順調に仕上がってきています。本番をお楽しみになさってください。保護者席につきましては、昨年度までと同様に、一家庭に２席を指定席で準備しています。３名以上でご観覧の場合には、指定席後方に自由席を設けておりますので、ご利用ください。また、その後方をビデオ席にしております。フロアでの演技は、特に、背の低い低学年だと後方の席からは見えにくくなってしまいますが、会場設定の都合上、お許しください。お家の方々の声援を、子どもたちも楽しみにしていると思います。